

令和8年度シラバス（地理歴史）

学番 28 新潟県立村上高等学校

教科(科目)	地理総合	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	『高校生の地理総合』（帝国書院）、『新詳高等地図』（帝国書院）				
副教材等	『最新地理図表 G E O』（第一学習社）、『高校生の地理総合ノート』（帝国書院）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①未知のものに勇気をもって向き合い、謙虚に、かつ、意欲的に学ぶ生徒の育成を行います。 ②他者への配慮と心のこもった挨拶や振る舞い方を身に付け、思いやりをもって他者に接することにより、真に信頼される生徒を育成します。 ③学校生活の様々な機会を通じて心と体を鍛え、自分の将来の目標に向け、覚悟をもって努力する生徒を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①生徒一人ひとりの学力を高めるために、基礎的な学習の繰り返しにより知識の定着を図る指導を行います。 ②確かな学力に基づく問題解決力と判断力を身に付けさせるために、教科横断的な探究学習を行います。 ③専門分野に対する深い理解をもった職員が、質の高い授業を行い、学ぶことの面白さと喜びを伝えながら、生徒の教養を高めます。

2 学習目標

(1)地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

世界の諸事情に対して多面的・多角的なものの見方を身につけ、世界の諸地域の多様な文化を尊重する態度を身につけるようにする。また、共通テストに向けた基礎的学力を身につける。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開 に関して理解しているとともに、調査や諸資料から 様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互 の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察 したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会 の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題 を主体的に解決しようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業ノートやレポート、ワーク、授業プリント等の内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表への取り組みの観察 ・授業ノートやレポート、ワーク、授業プリント等の内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表への取り組みの観察 ・授業ノートやレポート、ワーク、授業プリント等の内容の確認 ・出席状況 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム	教科書 地図帳 資料集 デジタル教材	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	5	授業ノート 準拠ノート 作業プリント 小テスト 課題 授業態度
5	第2章 結び付きを深める現代世界地図の役割と種類	教科書 地図帳 資料集 デジタル教材	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	6	授業ノート 準拠ノート 作業プリント 小テスト 課題 授業態度
6 7 8 9	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	教科書 地図帳 資料集 デジタル教材	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	17	授業ノート 準拠ノート 作業プリント 小テスト 課題 授業態度

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
			②世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。		
10 11 12	第2章 地球的課題と国際協力	教科書 地図帳 資料集 デジタル教材	①世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 ②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	20	授業ノート 準拠ノート 作業プリント 小テスト 課題 授業態度
1 2	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災	教科書 地図帳 資料集 デジタル教材	①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づ	10	授業ノート 準拠ノート 作業プリント 小テスト 課題 授業態度

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
			くりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。		
3	第2章 生活圏の調査と地域の展望	教科書 地図帳 資料集 デジタル教材	①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	6	授業ノート 準拠ノート 作業プリント 小テスト 課題 授業態度

計64時間（55分授業）

7 課題・提出物等

授業ノート、準拠ノート、作業プリント等

8 担当者からの一言

地理とは、「地域の^{ことわり}理」を学習する科目です。ある地域（日本、新潟、村上など何処でもOK）の特色（農牧業、鉱工業、都市・人口問題等）には必ず理由があります。その理由を探るのが地理です。様々な理由と一緒に探りながら学習していきましょう。作業が多くなるので色ペンを必ず用意してください。